

## 夢を語り実現することが社長の仕事

理事長 西河洋一

社長が経営判断をする事について、今回触れてみたいと思います。

会社組織において、特に重要なことについて会社の社長が判断するという事は、当然な事と思うかもしれませんが、我々の行っている株式会社組織においては、取締役会が会社運営に関しての最高意思決定機関であります。

さらに、株主総会において、取締役や監査役の選任議案を取締役会より上程し、株主総会の議決により承認され、取締役や監査役が決まり就任します。

よって、株主総会が株式会社組織の最高位となる訳ですが、だからといって株主の利益の最大化に向けて取締役会が、会社事業の運営を行えば良いという事ではありません。各種法律順守や、地域社会と良い関係を保っていかなければ、企業は存続することができませんし、働く従業員や関係先も大切です。コーポレートガバナンスやリスクマネジメントの重要性が、昨今大きく問われています。

色々な会社の社長さんとお会いする中で、全ての事を自分で決めなければ気が済まないという人がいます。自分が大株主で、更に社長であれば、それを実現することは容易な事ですが、其処の社員は、どの様に感じているのかと思います。判断をしないので楽と思うか、それとも責任を持った仕事を任されたいと思っているか、定かではありません。しかし、人間一人の判断能力には限界があるので、その能力以上に伸ばせる企業で無いことは明白です。

私は10名程度の会社から、現在7,000名程の社員を有するホールディング会社まで、大きく成長した企業の社長となっています。これまで社長として様々な意思決定、経営判断をしてきましたが、その都度、経験した事が無い新たな事がとても多いと感じています。案件の金額についても到底、一人の財産での弁償で責任がとれるものではありません。

ニュース等で大企業の社長を傍で見ていると、思うように簡単に経営の意思決定を行っているように見えますが、実は、周囲の理解が欠かせません。大きな意思決定を社長一人で決める事ができるものではありません。

先日、ソフトバンクの孫社長が、英国のアームホールディングスを3.3兆円で買収するというニュースが流れました。10年前から欲しかったとのコメントもありましたが、取締役を説得し、取り纏めができたので実現したことであります。常に先をと考え、企業の発展を構想し、前進する孫社長に感服いたします。社長は、自分の夢を周囲に語り、夢を実現するのが仕事と思います。